

第127回不正対策研究部会・第38回不正対策勉強会

開催	平成29年1月20日（金）午後1時～午後5時 PCSA会議室にて			
出席人数	講師1名、正部員11名、日遊協参加者4名、同友会参加者3名、 メーカー参加者1名、合計19名			
出席者リスト	リーダー		部会 勉強	
	松本 浩	株式会社ヒカリシステム	出 出	
	サブリーダー			
	市川 忍	株式会社ダイナム	出 出	
	正部員			
	倉沢 隆志	株式会社ニラク	出 出	
	寺島 宗幸	株式会社ニラク	出 出	
	松尾 武	夢コーポレーション株式会社	出 出	
	梅野 唯行	株式会社合田観光商事	出 出	
	藤 栄一郎	株式会社キョウサン	出 出	
	上野 誠	株式会社ヒカリシステム	出 出	
	柏 信吾	株式会社パンドラ（アメニティーズ）	出 出	
	徳永 正宣	株式会社チアエンタープライズ	出 出	
	山本 譲	株式会社三永	出 出	
	一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協） 参加者			
	3名	株式会社マルハン	出 出	
	1名	株式会社アプリイ	出 出	
	一般社団法人日本遊技産業経営者同友会（同友会） 参加者			
	3名	有限会社信徳	出 出	
	遊技機メーカー 参加者			
大庭 義樹 様	株式会社ユニバーサルエンターテインメント	出		

討議事項	1) セキュリティ監視カメラ説明会
	テーマ「全方位カメラに死角なし！」
	講師：株式会社 システム エイ・ブイ 次長 大井 敏昭 様
	係長 山下 智巳 様
	全方位カメラは球体レンズ（いわゆる魚眼レンズ）で全方位を高解像度で撮影、
	閲覧時にはソフトウェアで補正をかけて通常の見え方に変更している。その為
	既存の監視カメラと比較して死角が圧倒的になく事後の閲覧においてもズームや
	稼働がソフト的に可能となっている。これによって通常の監視カメラより
	遙かに高解像度のまま気になる箇所をズームアップ可能となっている。また、
	レンズを動かす必要がないために可動部分の耐久性にしばらくは事もない。
	また、通常は複数台のカメラでカバーする範囲を1台で受け持つ事により
	コストダウンも見込める。別企業も同様の全方位カメラを開発、販売して
	いるが、メリットでは負けていないと説明された。
	2) ゴト被害アンケート12月について
	アンケート回答10社。電波波、クレマンゴト、持ち込み、釘曲げゴトなどで
	被害件数116件、被害額¥1,455,726-、警察への通報回数が6件、
	被害届申請が3件、被害届受理が1件となっている。挙動の怪しい遊技台の
	原因としてメイン基板とサブ基板間のケーブル接続を推測、また持ち込み
	グループの被害届申請の状況説明、混入した他店メダル対応方法などの
	情報を共有した。
3) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告	
株式会社ユニバーサルエンターテインメントの大庭義樹室長より特定部品の	
見分け方とメーカー側の対応策、遊技台のある部分にメダルを詰められてしまう	
事例などの情報を提供された。	

第38回不正対策勉強会

討議事項	講師：有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役 高石 隆一 様
	1. 2016年のゴト発生状況
	2. 最新のゴト情報
	3. 不正サブ基板
	4. クレジット上げゴト
	5. 糸付玉ゴト
	6. 釘曲げゴト
	7. 磁石ゴト
	8. 外部端子板が絡む不正情報
	9. 風営法関連情報
	10. 質疑応答
	2016年全体をふり返り、猛威をふるったゴト、被害状況、対応策の変遷など とりまとめた内容を講演、更に直近の新たなゴト事例について説明された。
次回開催	
不正対策研究部会	
平成29年2月17日（金）	
午後1時～3時	
PCSA会議室にて	